

陸上自衛隊長田野演習場【サブ会場①】仕様書

1 訓練概要

大規模地震により中・高層建物の座屈、橋梁の倒壊、大規模な土砂崩落が発生し、建物内、車両内及び瓦礫の下に多くの要救助者が取り残されている。また、地震の影響で運転を誤った大型バスによる多重交通事故が発生し多数の負傷者が発生している。

2 施設全般の仕様

訓練会場敷地内に以下の項目を設置すること。

なお、構造物の設置、関係資材の運搬、土砂の設置、会場整地、構造については、仕様書 1 及び 2 に記載のとおりとし、記載のない部分については事務局と協議・調整して施工すること。

- (1) 会場借用期間は令和 6 年 9 月 30 日（月）から 11 月 10 日（日）までであり、施設の施工可能期間（撤去を含む）については、令和 6 年 10 月 7 日（月）から 11 月 10 日（日）までとする。設営の履行期限を 10 月 24 日（木）までとし、原状復帰を 11 月 10 日（日）までに行うこと。

なお、借用期間以外に事前調査等で敷地内に立ち入る場合は、事務局に申し入れること。

- (2) 訓練参加の大型車両（概ね 20 トンを想定）の通行に支障ない措置を講じ不陸整正すること。
- (3) 整地、資機材等の搬送のための会場進入経路は、事務局が指定する。
会場への出入りがある時間中は、必要に応じ警備員を配置し、交通事故防止、幹線道路の渋滞緩和等に努めるとともに、タイヤ洗浄を徹底し、周辺住民の生活道路への影響を極力排除すること。
- (4) 設営中の工作物に対する墜落及び衝突等の事故防止の観点から、夜間でも視認できる明示措置を講じること。
- (5) 令和 6 年 10 月 26 日（土）の訓練終了後、翌日の訓練実施のため要救助者想定の人形配置やレイアウトの変更補助を行うこと。
なお、令和 6 年 10 月 26 日（土）の訓練終了は 19 時 00 分頃を想定しており、21 時 00 分までには作業を終えること。夜間作業を踏まえ、指定する場所に照明を確保すること。詳細は事務局と協議すること。
- (6) 会場全体に係る部分については、共通事項に記載のとおりとする。
- (7) 埋設の電源工事や水管工事が必要となる場合は、事務局と協議すること。
- (8) サブ会場（陸上自衛隊長田野演習場）の配置図は「仕様書 3」のとおりとする。

3 建物倒壊救出救助訓練に伴う訓練施設の仕様

(1) 訓練概要

大規模地震により、4階建て大学学生寮の1、2階が圧壊し複数の負傷者が発生している。屋外階段は倒壊しており、周囲には落下物等の障害物が多数ある。

(2) 仕様

ア 圧壊した地上4階建て以上の中高層建物（幅10m×奥行4m×高さ8m程度）を再現する構造物を設置すること。

イ 訓練場敷地内にあるボックスカルバートを移動し、構造物1階に4列並べる形で配置すること。

ウ 上記イで使用する以外のボックスカルバートについては、構造物周辺の事務局が指示する位置に配置すること。1か所についてはボックスカルバート下に人形が下敷きの状態で、ボックスカルバートの中には土を入れ人形が埋まっている状態を再現すること。

エ 構造物の側面4方向は落下防止用のネットを設けること。

オ 4階正面には部分的に木板を貼り付け、救助隊員が進入可能な開口部（幅1m×高さ1m）を設けること。開口部は木板に穴を開けたものとし、梯子を架梯し隊員が登降する等の荷重に十分耐えられる構造とすること。

カ 2階正面には部分的に木板を貼り付け、救助隊員が進入可能な開口部（幅1m×高さ1m以下）を設けること。開口部は木板に穴を開けたものとし、隊員が進入する際の荷重に十分耐えられる構造とすること。

キ 2階、3階は2部屋、4階は3部屋になるよう木板、シートで間仕切りを設けること。

ク 3階、4階、屋上の床に開口部（0.75m×0.75m）を設けること。開口部の傍にコンクリート板（1m×1m×厚さ200mm程度）を設けること。

ケ 作業用の屋外階段を設けること。

コ 構造物屋上には転落防止用の柵を設けること。なお、柵は十分な強度を有し、ロープによる牽引、人員による荷重に十分耐えられるものであること。

サ その他

施工においては、事務局の指示に従い、施工が困難な状況が発生すれば、協議を行うこと。

(3) 工期

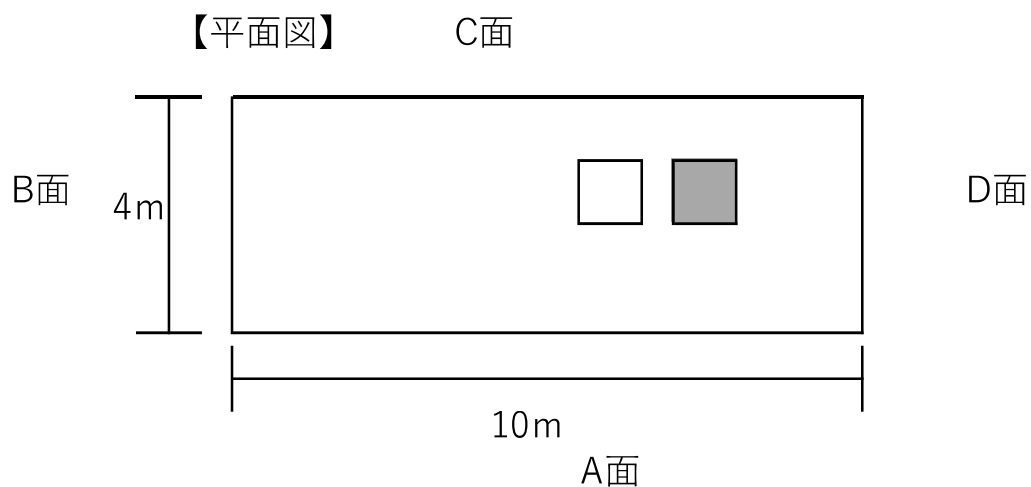
ア 工事等の実施可能期間は、令和6年10月7日（月）から令和6年11月10日（日）とする。

イ 設営は、10月24日（木）17時15分までに完了すること。

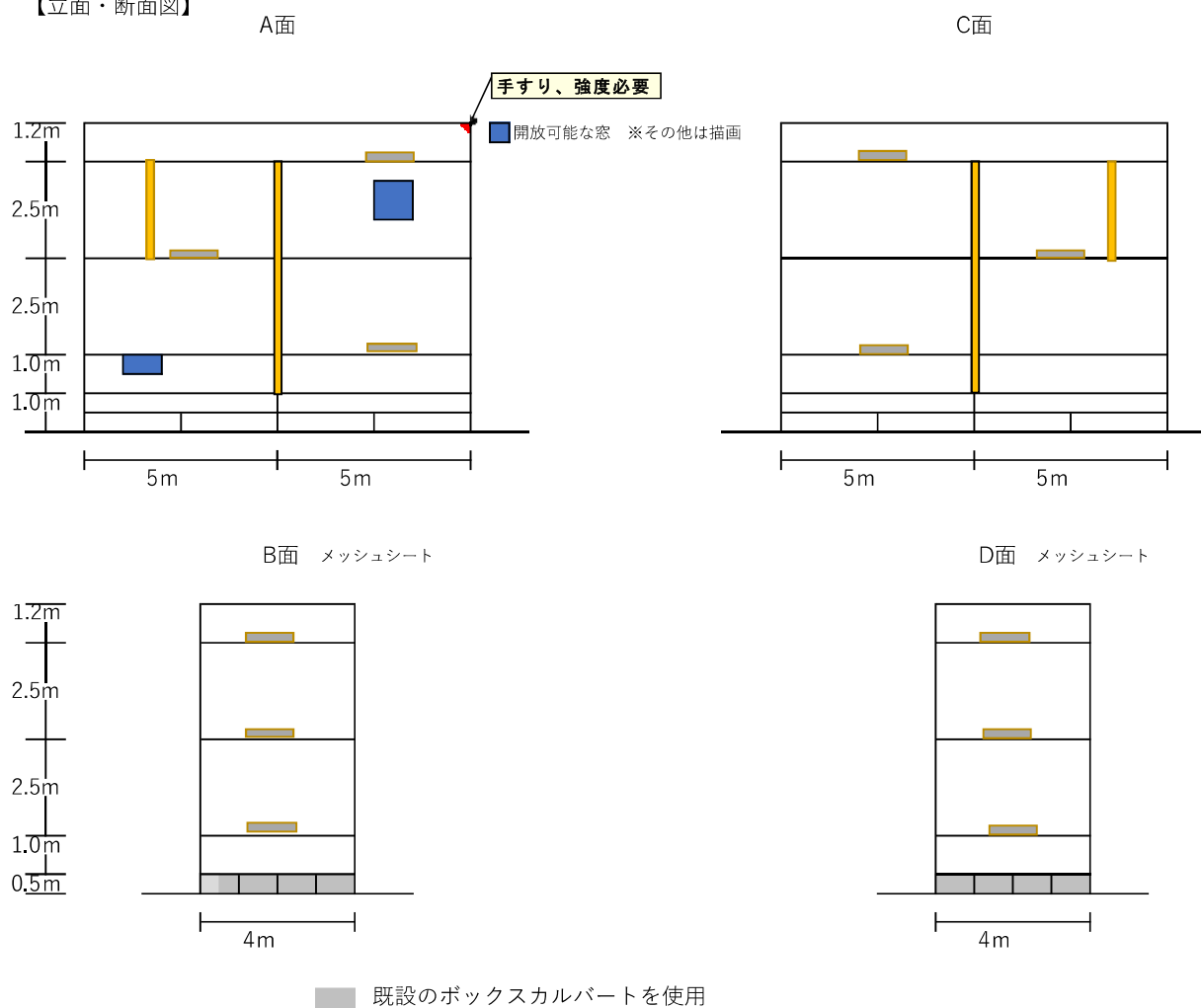
ウ 原状復帰を令和6年11月10日（日）17時15分までに行うこと。

エ 撤収時、ボックスカルバートの配置については、敷地内の設営前の状態に復元す

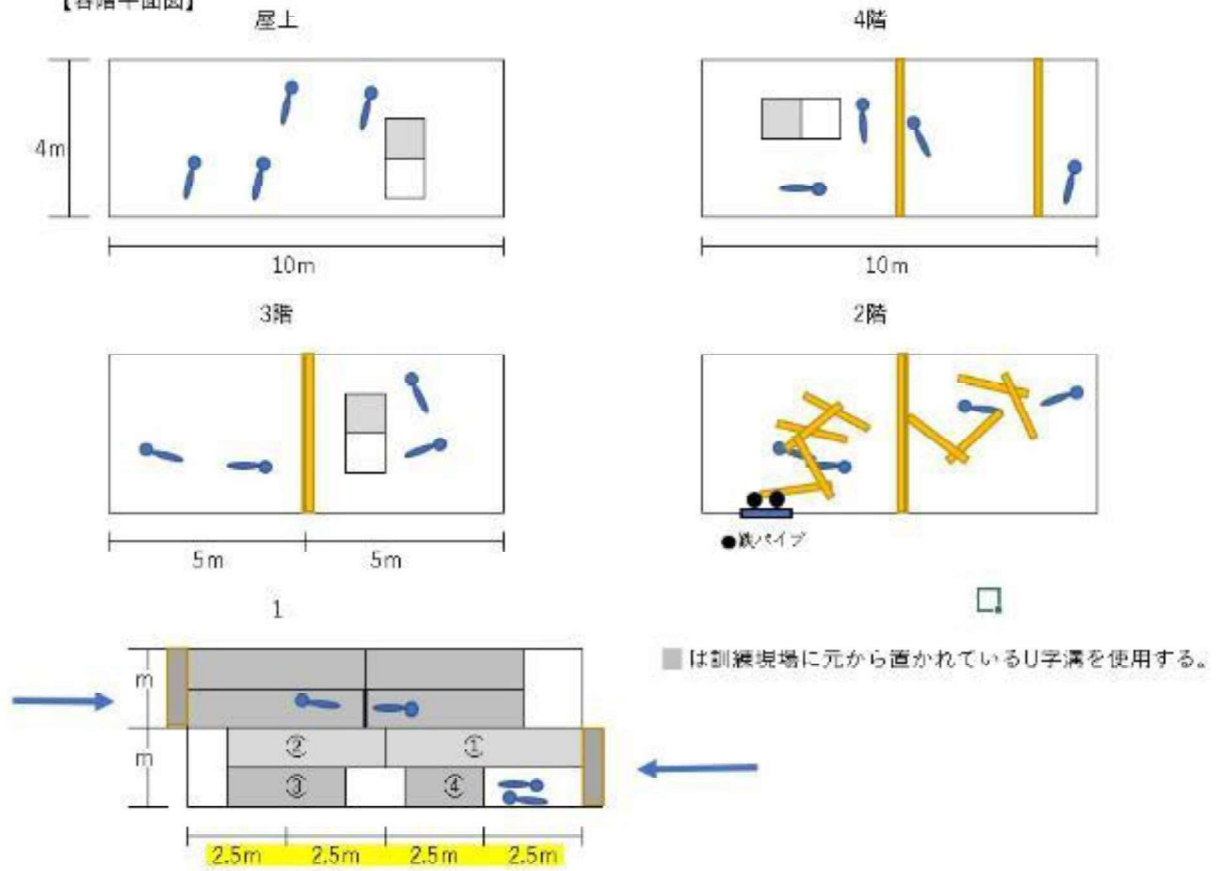
ること。



【立面・断面図】



【各階平面図】



4 橋梁倒壊事故救出救助訓練に伴う訓練施設の仕様

(1) 訓練概要

地震により橋梁が崩れ落ち、舞鶴若狭自動車道を走行中の普通乗用車2台が川に転落し、橋梁が車両を押し潰して車内に閉じ込められた要救助者が発生している。

また、橋梁の倒壊に伴い、南側スロープ（勾配）上では、急停車した大型トラックに普通乗用車が追突し、車内に挟まれている要救助者が発生している。

北側スロープ（勾配）上では急停車した普通乗用車1台に大型バイクが追突し、車両の下敷きによる要救助者が発生している。

さらに事故に気付くのが遅れた軽トラックが普通乗用車に追突して、車内に挟まれ要救助者が発生し、大型バイクに軽トラックが乗り上げる多重事故となっている。

(2) 仕様

会場の両サイドにL型擁壁、フレコンバック（土砂等入り）等を使用して、スロープ（勾配）を作成し、橋梁（H鋼、コンクリート板、ガードレール等）が崩れ落ちて川へ車両が転落しているイメージを再現すること。

事故車両として使用する普通乗用車及び大型トラック、軽トラック、大型バイク、訓練人形は、事務局が調達するため、事務局と協議のうえ配置すること。

なお、フレコンバック土砂等の運搬、撤去、整地及び勾配補正の工事については、陸上自衛隊及び事務局の指示を仰ぐこと。

ア 設置構造物等

- ・L型擁壁及びフレコンバック（土砂等入り）等を用いて両側スロープ（勾配）を整え、大型トラックの荷重に十分に耐えるよう敷鉄板等による補強を全面的に行うとともに、崩れないよう措置を講ずること。

また、L型擁壁等が倒れないように措置を講じ、スロープの高さは3m以上、幅は6m以上とし、スロープ長さは30m程度とする。

- ・訓練用車両7台（大型トラック1台、普通乗用車4台、軽トラック1台、大型バイク1台）を訓練配置場所に応じて、潜り込ませ、横転、転覆、大破等の加工を行い、それぞれの車内に訓練用人形（合計5体）を設置し、容易に救出が行えないように講ずること。

- ・北側スロープの大型バイク及び同運転手の訓練用人形は、普通乗用車の下敷きとすること。

- ・軽トラック自動車は、車内に訓練用人形を配置し、車両前部を大破させ、普通乗用車の後部へ追突させるとともに大型バイクに乗り上げた状態に設定すること。

- ・橋梁から転落した普通乗用車2台（転覆、横転）は、大破させ、H鋼、コンクリート板、ガードレール等を載せ掛け、橋梁倒壊をイメージできるよう講ずること。

- ・両側スロープについては、自動車専用道路に見立てて、中央分離帯としてプレキャストガードフェンス、その対面側（西側）にガードレールを設置すること。

各車両をプレキャストガードフェンスとガードレールの中央となるよう設置すること。

・川には、橋梁の崩れを見立てた状況を、H鋼、コンクリート板、ガードレール等を用いて設置すること。また、スロープ（勾配）から崩れた橋梁は、脱落しないよう一方（上部側）を固定すること。

イ その他の仕様

・スロープ間の川幅は20m、長さは40mとし、ブルーシートを用いて川をイメージすることができるよう講ずること。また、ブルーシートが風等で飛ばないようにペグ等を打ち込むとともに転倒防止策を講ずること。

・川への進入を禁止する明示として、カラーコーン（バー、ウエイト含む）を設置し、風等による転倒防止を講ずること。

・各スロープ（勾配）の西側に側道を見立てた、白線を2本引くこと。白線間は、5m程度とし、長さについては、30m程度とすること。

※ 下記イメージ図及び詳細を参照

※ 施工においては、事務局の指示に従い、施工が困難な状況が発生すれば、協議を行うこと。

(3) 工期

ア 工事等の実施可能期間は、令和6年10月7日（月）から令和6年11月10日（日）とする。



イ 設営は、10月24日（木）17時15分までに完了すること。

ウ 原状復帰を令和6年11月10日（日）17時15分までに行うこと。

エ 撤収時、事務局が準備する自動車については、事務局が指定する敷地内の位置まで移動すること。



橋梁倒壊事故訓練（交通救助）仕様書【詳細】				
品名等	規 格	数 量	仕様条件	
大型トラック	平ボディ又はアルミバン (中型車でも可能)	1台	大型トラック後方に普通乗用車を潜り込ませること。 大型トラックに変形等の加工は必要はなし。	
普通乗用車	セダンタイプ (車高が低いもの)	1台	普通乗用車を大型トラック後方に潜り込ませること。 車内に訓練用人形1体を配置し、天井部分及びドア部分を大破させ、容易に救出が行えないよう講ずること。	
普通乗用車 (軽乗用車でも可能)	車種等の指定はなし。	1台	普通乗用車を転覆状態に配置すること。 車内に訓練用人形1体を配置し、天井部分及びドア部分を大破させ、容易に救出が行えないよう講ずること。 H鋼、コンクリート板、ガードレール等を車両に載せ掛けること。	
普通乗用車 (軽乗用車でも可能)	車種等の指定はなし。	1台	普通乗用車を横転状態に配置すること。 車内に訓練用人形1体を配置し、天井部分及びドア部分を大破させ、容易に救出が行えないよう講ずること。 H鋼、コンクリート板、ガードレール等を車両に載せ掛けること。	
普通乗用車	車種等の指定はなし。	1台	普通乗用車をプレキャストガードフェンスに乗り上げ（車両前部側のみ）、不安定な状態に配置すること。 車両下部に大型バイク及び訓練用人形1体を下敷きに配置すること。 また、車両後部を大破させドアが容易に開かないように講ずること。	
大型バイク	車種等の指定はなし。	1台	大型バイク及び訓練用人形1体を普通乗用車の下敷きに配置すること。 ガソリン、オイル等が漏洩しないように講ずること。	
軽トラック	車種等の指定はなし。	1台	軽トラックを普通乗用車へ追突させ、大型バイクに乗り上げた状態に配置すること。 車内に訓練人形を配置し、車両前部を大破させ、挟まれを再現すること。 ガソリン、オイル等が漏洩しないように講ずること。	
ガードレール	長さ5m程度 コンクリートブロック付き (H鋼付きでも可能)	12本	スロープ（勾配）上に設置するとともに橋梁倒壊に見立てて設置すること。 転落の普通乗用車（2台）上にも配置すること。	

L型擁壁	長さ2m×幅1～1.5m×高さ3～4m サイズが不足する際は、同程度以上とすること。	6本	各スロープ（勾配）の前面に設置すること。 救出活動に壁面として使用することから、倒れないようにアンカー等で固定の措置を講ずること。	
敷鉄板	長さ3m×幅1.5m程度 厚みの指定はなし。 サイズが不足する際は、同程度以上とすること。	80枚 (程度)	両スロープ（勾配）の全面に均一に敷くこと。	
H鋼	長さ5m以上 サイズが不足する際は、同程度以上とすること。	6本	橋梁倒壊を見立てて設定すること。 各スロープ（勾配）側から崩れを見立てるように配置し、上部側は、固定等を行い転落防止を講ずること。 転落の普通乗用車（2台）上等にも配置すること。	
コンクリートブロック板	長さ2m×幅1m程度 サイズが不足する際は、同程度以上とすること。	6枚	橋梁倒壊を見立てて設定すること。 各スロープ（勾配）側から崩れを見立てるように配置し、上部側は、固定等を行い転落防止を講ずること。 転落の普通乗用車（2台）上等にも配置すること。	
プレキャストガードフェンス	長さ5m程度 サイズが不足する際は、同程度以上とすること。	6本	各スロープ（勾配）上の各車両左右に一列に配置しすること。	
ブルーシート	#3000 縦10m×横10m	8枚	川を見立てて均一に敷くこと。 ブルーシートが風等で飛ばないようにペグ等を打ち込むとともに転倒防止策を講ずること。	
カラーコーン	コーン、バー、ウエイト	40 セット	川への進入を禁止する明示として、カラーコーンを設置する。 カラーコーンは、等間隔に配置し、風等による転倒防止を講ずること。	

5 土砂崩落救出救助訓練に伴う訓練施設の仕様

(1) 訓練概要

大規模地震により、山林の斜面が大規模に崩落、集落の一部に土砂が流れ込み、建物及び車両等が巻き込まれ、多数の要救助者が発生している。

なお、集落への主要道路は土砂等により通行不能となっている。

(2) 仕様

訓練会場南西側から北東側（模擬家屋まで）へ、土砂により45°程度の傾斜を形成し、土砂に埋もれた家屋、埋没車両、生き埋めとなった要救助者を再現すること。

ア 設置物等

- ・土砂は現地調達とし、各ブースに必要な土量を配置すること。
- ・シルバーシートにより、道路（幅員5m×20m×2セット：T字路）を再現すること。
- ・木造模擬家屋（間口3,600mm×奥行3,600mm×高さ2,400mm程度）1棟を組み上げ、土砂で埋めること。なお、躯体の骨組みは単管パイプ、屋根及び壁はコンパネで形成し、家屋内に人形要救助者3体を設置すること。
- ・車両（軽、普通乗用車ベース）5台を地中に埋めた状態とし、5台のうち3台に人形要救助者を配置すること。
- ・コンクリート部材（ボックスカルバート）は事務局が調達するため、事務局と協議のうえ各ブースに必要数配置すること。
- ・間伐材（直径20～30cm×長さ3m×20本程度、直径60cm×長さ1m×2本程度）を現地調達（伐採）し、各ブースに必要数配置すること。ただし、伐採する際は自衛隊の指示に従うこと。
- ・人形要救助者4体を地中に埋め、生き埋め要救助者を再現すること。

イ その他

- ・設置方法の詳細説明は、現地で事務局と協議すること。
- ・人形要救助者10体は事務局で準備する。
- ・車両5台は事務局で準備する。
- ・配置等については、以下の図のとおりとする。

(3) 工期

ア 工事等の実施可能期間は、令和6年10月7日（月）から令和6年11月10日（日）とする。

イ 設営は、10月24日（木）17時15分までに完了すること。

ウ 原状復帰を令和6年11月10日（日）17時15分までに行うこと。

エ 撤収時、事務局が準備する自動車については、事務局が指定する敷地内の位置まで移動すること。また、ボックスカルバートの配置については、敷地内の設営前の状態に復元すること。

【土砂災害エリア配置図】

1 出動経路イメージ図



2 全体イメージ図（災害発生前）

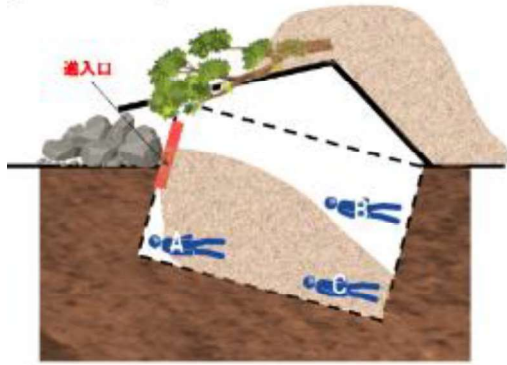


3 全体イメージ図（災害発生後）

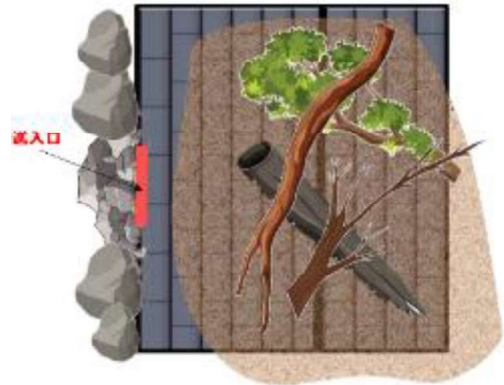


【埋没家屋イメージ図】

立面図



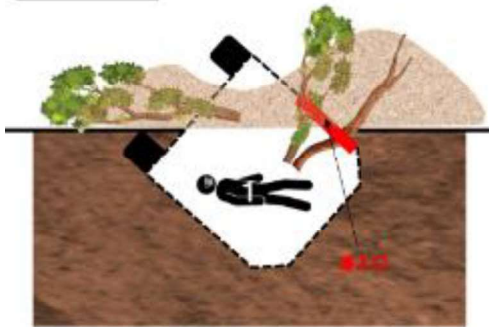
平面図



【埋没車両イメージ図】

1 想定①

立面図

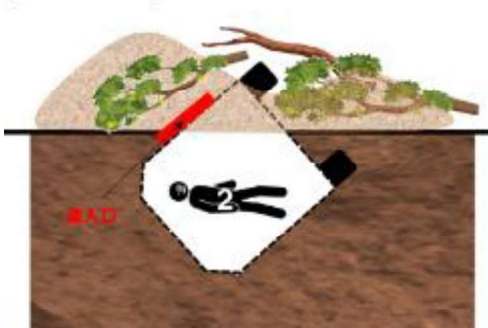


平面図



2 想定②

立面図

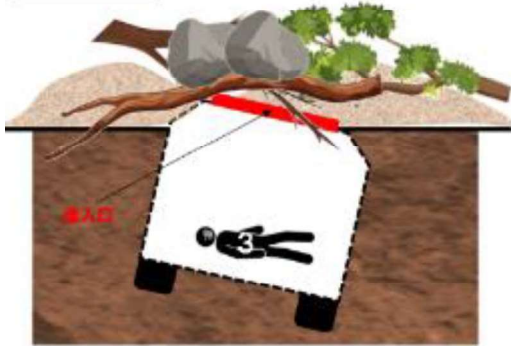


平面図



3 想定③

立面図



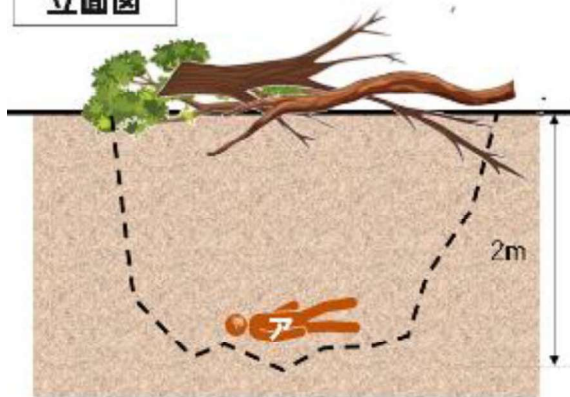
平面図



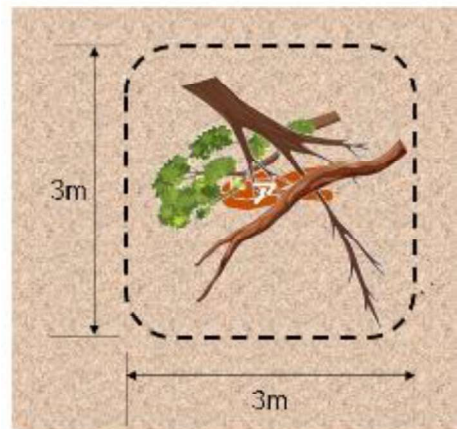
【生き埋めイメージ図】

1 想定ア

立面図

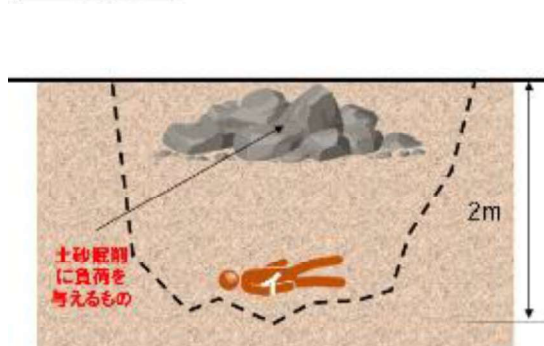


平面図

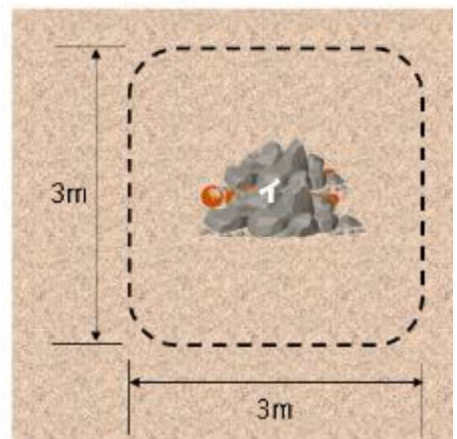


2 想定イ

立面図



平面図

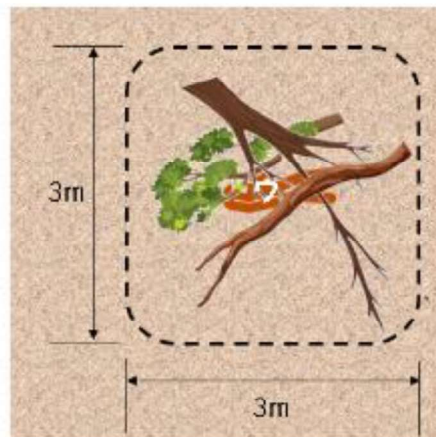


3 想定ウ 深さ 1 m

立面図



平面図

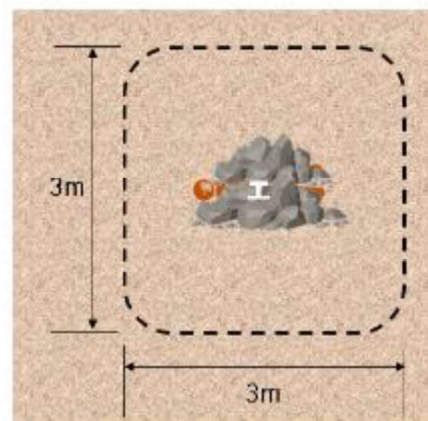


4 想定エ 深さ 1 m (カルバート障害作る)

立面図



平面図



6 多重交通事故救出救助訓練に伴う訓練施設の仕様

(1) 訓練概要

大規模地震により、走行していた大型バスがハンドル操作を誤り別のバスに衝突し1台が横転、付近の車両2台が横転したバスに巻き込まれる多重事故が発生し、多数の要救助者及び負傷者が発生している。

(2) 仕様

実車を用いて、大型バスを含む多重交通事故を再現すること。

なお、事故車両として使用する大型バス2台及び普通乗用車4台は事務局が調達するため、事務局と協議のうえ配置すること。

ア 設置物等

- ・訓練車両は大型バス2台、普通乗用車2台を配置すること。
- ・普通乗用車は、両日に2台ずつ使用し、1日目の訓練終了後に別の2台と入れ替えること。
- ・訓練車両の下部には、破壊したガラス等の飛散を防止するためのブルーシートを敷設し固定すること。
- ・配置については、下記図のとおりとすること。

イ その他の仕様

- ・普通乗用車の車内には、事務局が調達する訓練人形を配置すること。
- ・普通乗用車は、要救助者を容易に救出することができないよう、変形、破損等の加工を行うこと。なお、加工内容は事務局と協議すること。
- ・カラーコーン等を用いて車両の進入路を明示すること。

(3) 工期

ア 工事等の実施可能期間は、令和6年10月7日（月）から令和6年11月10日（日）とする。

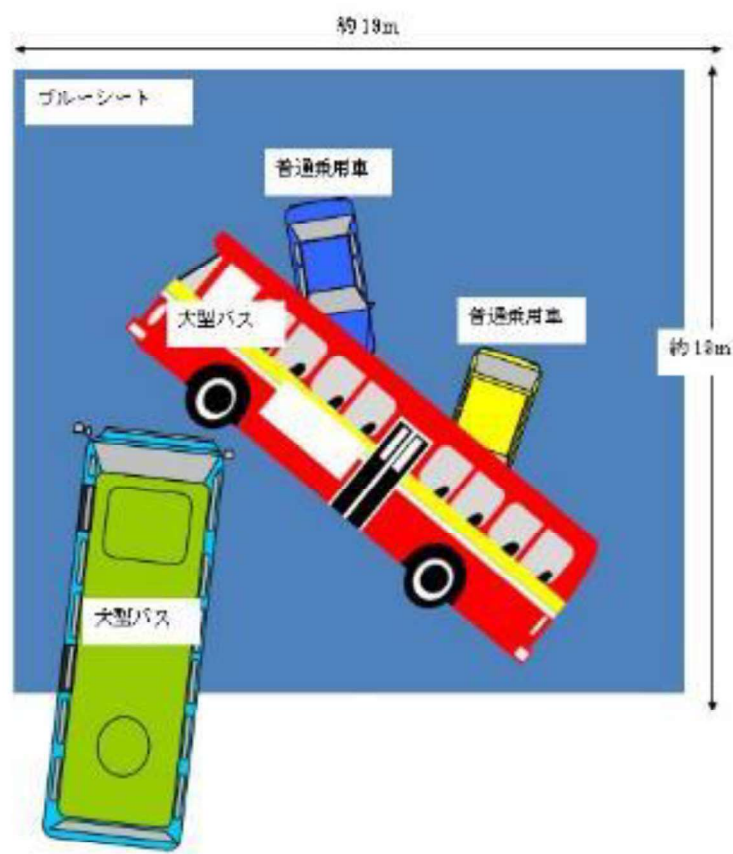
イ 設営は、10月24日（木）17時15分までに完了すること。

ウ 原状復帰を令和6年11月10日（日）17時15分までに行うこと。

エ 撤収時、事務局が準備する自動車については、事務局が指定する敷地内の位置まで移動すること。



訓練車両配置イメージ図



【JR西日本吹田総合車両所福知山支所：サブ会場②】仕様書**1 訓練概要**

地震の影響により脱線した列車が線路側道を走行していたマイクロバスに接触し、多くの負傷者、要救助者が発生している。

2 施設全般の仕様

訓練会場敷地内に以下の項目を設置すること。

なお、構造物の設置、関係資材の運搬、土砂の設置、会場整地、構造については、仕様書1及び2に記載のとおりとし、記載のない部分については事務局と協議・調整して施工すること。

- (1) 会場借用期間は令和6年10月21日(月)から10月28日(月)までであり、施設の施工可能期間(撤去を含む)については、令和6年10月21日(月)から10月28日(月)までとする。設営の履行期限を10月24日(木)までとし、原状復帰を10月28日(月)までに行うこと。

なお、借用期間以外に事前調査等で敷地内に立ち入る場合は、事務局に申し入れること。

- (2) 整地、資機材等の搬送のための会場進入経路は、事務局が指定する。

会場への出入りがある時間中は、必要に応じ警備員を配置し、交通事故防止、幹線道路の渋滞緩和等に努めるとともに、周辺住民の生活道路への影響を極力排除すること。

- (3) 設営中の工作物に対する墜落及び衝突等の事故防止の観点から、夜間でも視認できる明示措置を講じること。

- (4) 会場全体に係る部分については、共通事項に記載のとおりとする。

- (5) 埋設の電源工事や水管工事が必要となる場合は、事務局と協議すること。

3 仕様

JR西日本吹田総合車両所福知山支所の敷地と設備を利用し脱線した列車、衝突したマイクロバスを再現する。

なお、脱線車両と訓練施設の範囲等についてはJR西日本吹田総合車両所福知山支所と連携して設定する。マイクロバスについては事務局が手配するマイクロバスを使用する。

- (1) 設置構造物等

仮想病院(間口5400mm・奥行3600mm・開口部高さ2000mm)テント2張り

(2) その他の仕様

- ア 事務局が調達する訓練人形を指定する場所に設置すること。
- イ 仮想病院に机（1台）・椅子（3脚）を設置すること。
- ウ 会場内において、訓練エリア及び危険個所には、事務局と協議の上、JR西日本吹田総合車両所福知山支所の準備するカラーコーン、ロープ等で明示するなど安全措置を講じること。
- エ 要救助者70名分の特殊メイクシールを準備すること。

訓練会場全体図



訓練イメージ



【福知山市三段池公園：後方支援会場】仕様書

1 訓練概要

大規模地震の発生に伴い、参集した緊急消防援助隊各府県大隊が三段池公園駐車場に宿営地を設営する。

2 施設全般の仕様

訓練会場敷地内に以下の項目を設置すること。

なお、構造物の設置、関係資材の運搬については、仕様書 1 及び 2 に記載のとおりとし、記載のない部分については事務局と協議・調整して施工すること。

- (1) 会場借用期間は令和 6 年 10 月 24 日（木）から 10 月 28 日（月）までであり、施設の施工可能期間（撤去を含む）については、令和 6 年 10 月 24 日（木）から 10 月 28 日（月）までとする。設営の履行期限を 10 月 24 日（木）までとし、原状復帰を 10 月 28 日（月）までに行うこと。

なお、借用期間以外に事前調査等で敷地内に立ち入る場合は、事務局に申し入れること。

- (2) 整地、資機材等の搬送のための会場進入経路は、事務局が指定する。

会場への出入りがある時間中は、必要に応じ警備員を配置し、交通事故防止、幹線道路の渋滞緩和等に努めるとともに、周辺住民の生活道路への影響を極力排除すること。

- (3) 設営中の工作物に対する墜落及び衝突等の事故防止の観点から、夜間でも視認できる明示措置を講じること。

- (4) 会場全体に係る部分については、共通事項に記載のとおりとする。

- (5) 埋設の電源工事や水管工事が必要となる場合は、事務局と協議すること。

3 仕様

宿営場所となる三段池公園駐車場内に簡易トイレ、手洗い器を設置し宿営環境を整えること。なお、簡易トイレ、手洗い器の設置場所については、事務局が指定する場所に設置する。

- (1) 宿営地

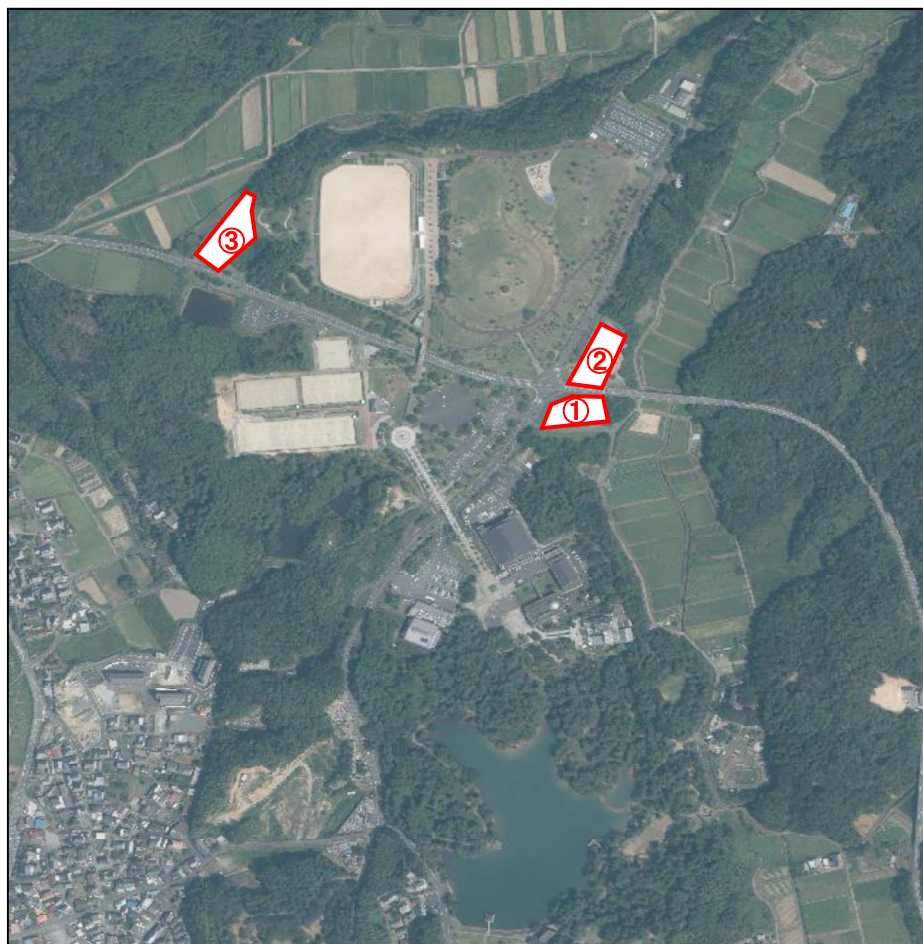
ア 簡易トイレ（大用）	9 基
イ 簡易トイレ（小用）	6 基
ウ 手洗い器	6 基

- (2) その他の仕様

ア 簡易トイレ、簡易手洗いは令和 6 年 10 月 24 日（木）に設置すること。設置場所については、「簡易トイレ等設置場所」①から③の駐車場内とし、設置場所の詳細に

については、事務局と協議のうえ、設置後に事務局の確認を受けること。
イ 原状復帰は、訓練終了後から令和6年10月28日（月）までに行い、事務局の確認を受けること。

簡易トイレ設置位置（全体図）



簡易トイレ等設置場所①



簡易トイレ等設置場所②



簡易トイレ等設置場所③



参考写真 (簡易トイレ等)



猪崎由良川河川敷【一般客駐車場】仕様書

1 概要

メイン会場である陸上自衛隊福知山訓練場には一般客の来場を予定しており、一般客は猪崎由良川河川敷に車両を駐車し、送迎バス（別途、事務局が調達）によりメイン会場へ移動する。

2 駐車場の仕様

- (1) 設営期間は令和6年10月25日（金）から10月26日（土）を基本とし、設営の履行期限を10月27日（日）の午前6時までとする。
- (2) 原状復帰については、10月28日（月）17時15分までに行うこと。
- (3) 乗用車が約900台駐車できるように、石灰等により駐車スペースの区画表示を行うこと。
- (4) 駐車場内は車両や歩行者が頻繁に往来するため、十分な駐車スペースや間隔を設けるなど、事故防止のための措置を講じること。
- (5) 「一般客駐車場」「バス乗降場」等の位置や動線を明示した看板を設置すること。
- (6) 仮設トイレ及び手洗いユニットを必要数設置すること（詳細は仕様書3による）。
- (7) 車両誘導等のために必要数の警備員を配置すること。
- (8) バス乗降場においては、一般客の安全を確保できるように動線を配慮すること。
- (9) 河川が増水した場合に備え、緊急連絡先の提示を含め、迅速に設備等を撤去できる体制を維持すること。
- (10) 雨天時には駐車場を利用した車両等により公道等が汚れる可能性があるため、道路清掃を実施すること。
- (11) 河川敷の草刈りについては事務局が別途、手配することとする。
- (12) その他、仕様書に定めのない事項は事務局と協議のうえ、決定する。

資機材一覧表

資料1

1. 陸上自衛隊福知山訓練場【メイン会場】

NO.	名称	品名・仕様・寸法	数量	単位	備考
1 看板関係					
	当日看板	W900×H1800	1	枚	メイン看板①
	当日看板	W450×H1800	32	枚	案内等①～③、消防訓練関係21
	当日看板	W900×H200(吊下げ看板)	10	枚	来賓テント説明用
	当日看板	W900×H200(吊下げ看板)	32	枚	防災展示テント説明用
	当日看板	W300×H800(十脚脚300) 一本足自立型	20	枚	車両展示機関係説明用
	当日看板	W1500×H500(貼付け型)	4	枚	消防訓練関係
2 備品関係					
	カラーコーン	重り付き	186	個	
	カラーコーンカバー	2m	185	個	370mm分
	ゴミ箱(可燃・不燃)	ゴミ袋30L入り(処分費用込み)	10	個	
	パイプテント	2K×3K 重し付き	35	張	防災展示16、来賓テント10、本部2、受付1、被災者役着替4、リアル救護所2
	テント横幕	2K×3K用(着替え用)	4	枚	被災者役着替
	長机	D450×W1800 白布付	3	台	受付用
	長机	D450×W1800	104	台	車両展示20、防災展示テント64、本部テント12、被災者役着替8
	パイプイス		430	脚	車両展示20、防災展示テント128、来賓テント240、本部20、受付6、被災者役着替16
	席札	貼付作業込み	240	枚	来賓席
	ブルーシート	2K×3K	33	枚	テントへの敷き込み
	祝電用ボード	W900×H2100 押しピン、スタンド付き	1	枚	
	ホワイトボード	マーカー、マーカー消し付き	11	台	
	ブラカード	一本足自立型	11	枚	参加機関係表示
	すのこ	60×90cm	36	個	被災者役着替テント用
3 音響、電気関係					
	ドラムロール	屋外用、20m以上	18	台	防災展示16、本部2
	小型発電機	2.8kW、W665×D445×H555mm程度、連続使用時間4時間以上(燃料満タンとすること)	17	台	防災展示16、本部1
4 その他					
	駐車場等区画表示	白石灰等	1	式	訓練参加者駐車場114台、来賓駐車場63台
	イベント保険	傷害保険、施設賠償責任保険	1	式	
	手洗いシンク	給排水込み	4	台	
	レンタルトイレ	汲み取り込み	32	台	男性小12、男性大4、女性16
	トイレ目隠し	40m	1	式	

2. 陸上自衛隊長田野演習場【サブ会場①】

NO.	名称	品名・仕様・寸法	数量	単位	備考
1 看板関係					
	当日看板	W450×H1800	7	枚	消防訓練関係
2 備品関係					
	カラーコーン	重り付き	96	個	観客統制16、橋梁倒壊80、多重交通事故13
	カラーコーンカバー	2m	84	個	観客統制15、橋梁倒壊79、多重交通事故12
	パイプテント	2K×3K 重し付き	10	張	救護所6、被災者役着替4
	テント横幕	2K×3K用(着替え用)	4	枚	被災者役着替
	長机	D450×W1800	14	台	救護所6、被災者役着替8
	パイプイス		22	脚	救護所6、被災者役着替16
	ブルーシート	2K×3K	10	枚	テントへの敷き込み
	ブルーシート	D10000×W10000	8	枚	橋梁倒壊
	ホワイトボード	マーカー、マーカー消し付き	5	台	
3 その他					
	手洗いシンク	給排水込み	1	台	
	レンタルトイレ	汲み取り込み	2	台	

3. JR西日本吹田総合車両所福知山支所【サブ会場②】

NO.	名称	品名・仕様・寸法	数量	単位	備考
1 看板関係					
	当日看板	W450×H1800	2	枚	消防訓練関係
2 備品関係					
	パイプテント	2K×3K 重し付き	6	張	被災者役着替4、仮想病院2
	テント横幕	2K×3K用(着替え用)	4	枚	被災者役着替
	長机	D450×W1800	9	台	被災者役着替8、仮想病院1
	パイプイス		19	脚	被災者役着替16、仮想病院3
	ブルーシート	2K×3K	6	枚	テントへの敷き込み
	すのこ	60×90cm	20	個	被災者役着替テント用
	特殊メイクシール		70	個	被災者役用

4. 三段池公園【後方支援会場】

NO.	名称	品名・仕様・寸法	数量	単位	備考
1 看板関係					
	当日看板	W450×H1800	1	枚	消防訓練関係
2 備品関係					
	吹き流し(等含む)	打ち込み	1	個	
3 その他					
	ヘリポートマーク表示	石灰等	1	式	
	手洗いシンク	給排水込み	6	台	
	レンタルトイレ	汲み取り込み	15	台	男性小6、男性大9

5. 猪崎由良川河川敷【一般客駐車場】

NO.	名称	品名・仕様・寸法	数量	単位	備考
1 看板関係					
	当日看板	W450×H1800	7	枚	案内等
2 その他					
	駐車場等区画表示	白石灰等	1	式	一般客駐車場900台
	手洗いシンク	給排水込み	2	台	
	レンタルトイレ	汲み取り込み	11	台	男性小4、男性大2、女性5
	トイレ目隠し		1	式	

訓練用車両（廃車）一覧

番号	会場別	車両タイプ
1	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	4tトラック
2	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	大型バイク
3	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	乗用車
4	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	乗用車
5	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	乗用車
6	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	乗用車
7	長田野演習場（橋梁倒壊事故）	軽トラック
8	長田野演習場（土砂災害）	軽自動車
9	長田野演習場（土砂災害）	軽自動車
10	長田野演習場（土砂災害）	軽自動車
11	長田野演習場（土砂災害）	軽自動車
12	長田野演習場（土砂災害）	軽自動車
13	長田野演習場（多重交通事故）	大型バス
14	長田野演習場（多重交通事故）	大型バス
15	長田野演習場（多重交通事故）	乗用車
16	長田野演習場（多重交通事故）	乗用車
17	長田野演習場（多重交通事故）	乗用車
18	長田野演習場（多重交通事故）	乗用車
19	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	乗用車
20	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	乗用車
21	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	乗用車
22	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽自動車
23	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽自動車
24	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽自動車
25	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽自動車
26	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽自動車
27	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽自動車
28	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	軽トラック
29	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	原付バイク
30	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	原付バイク

※13番の大型バスについては、自走可能（リース物品）。

コンクリート一覧

番号	会場別	形状	規格
1	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	PCボックスカルバート 1100*700*1500A
2	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	PCボックスカルバート 1100*700*1500A
3	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	PCボックスカルバート 1100*700*1500B
4	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 900*500*2000
5	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 1500*700*1000A
6	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 022S 800*700*1800/1834
7	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 022S 800*700*800/834
8	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 700*700*1750/744DB
9	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 1300*1300*912/952DB
10	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート 1300*1300*1188/1228DB
11	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	HTCボックスカルバート TB 600*1000*2000B
12	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
13	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
14	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
15	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
16	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
17	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
18	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	ヒューム管（推進管）EJA51 900×1200N
19	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	直径 1050*高さ 1350
20	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	円柱	直径 1050*高さ 1350
21	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 1000*幅 1000*長さ 2000
22	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	U型	高さ 570*幅 820*長さ 2000
23	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 1000*幅 950*長さ 2000
24	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 850*幅 1100*長さ 2000
25	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 850*幅 1100*長さ 2000
26	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 800*幅 800*長さ 2000
27	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 750*幅 1200*長さ 1550
28	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 850*幅 1200*長さ 2000
29	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 750*幅 1200*長さ 1650
30	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 900*幅 1000*長さ 1050
31	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	U型	高さ 550*幅 840*長さ 2000
32	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 900*幅 1000*長さ 2000
33	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 800*幅 1200*長さ 900

3 4	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 750*幅 1200*長さ 1700
3 5	福知山訓練場（トンネル崩落事故）	口型	高さ 800*幅 1200*長さ 2000
3 6	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
3 7	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
3 8	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
3 9	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 0	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 1	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 2	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 3000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 3	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 4	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 5	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 6	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 7	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 2500*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 8	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 2500*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
4 9	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
5 0	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 850*高さ 800（内径 500*500）
5 1	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 550*高さ 600（内径 400*300）
5 2	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 550*高さ 600（内径 400*300）
5 3	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 550*高さ 600（内径 400*300）
5 4	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 550*高さ 600（内径 400*300）
5 5	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 550*高さ 600（内径 400*300）
5 6	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 550*高さ 600（内径 400*300）
5 7	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 420*高さ 700（内径 580*480）
5 8	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 420*高さ 700（内径 580*480）
5 9	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 420*高さ 700（内径 580*480）
6 0	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 4000*幅 420*高さ 700（内径 580*480）
6 1	長田野演習場（倒壊建物救助）	口型	長さ 1500*幅 650*高さ 600（内径 350*300）